

# Mizuho Daily Market Report

2025/2/28

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	149.25	149.81	+0.71	+0.17
EUR	1.0477	1.0398	▲0.0087	▲0.0103
AUD	0.6299	0.6236	▲0.0069	▲0.0164
SGD	1.3404	1.3484	+0.0096	+0.0149
CNY	7.2675	7.2865	+0.0287	+0.0436
MYR	4.4400	4.4410	+0.0122	+0.0115
THB	33.88	33.92	+0.21	+0.26
IDR	16454	16450	+80	+120
PHP	57.89	57.90	+0.01	▲0.02
INR	87.22	87.20	▲0.00	+0.53
VND	25551	25542	▲9	+16

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.260%	+0.4 bp	▲24.5 bp
日本(10年)	1.401%	+3.4 bp	▲4.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.413%	▲2.0 bp	▲12.1 bp
オーストラリア(5年)	3.936%	▲1.6 bp	▲17.6 bp
シンガポール(5年)	2.672%	▲2.4 bp	▲10.0 bp
中国(5年)	1.642%	+3.4 bp	+9.0 bp
マレーシア(5年)	3.597%	▲0.1 bp	▲1.9 bp
タイ(5年)	1.965%	▲5.8 bp	▲11.9 bp
インドネシア(5年)	6.766%	+9.4 bp	+22.2 bp
フィリピン(5年)	5.839%	+0.9 bp	+7.7 bp
インド(5年)	6.626%	+0.6 bp	▲2.1 bp
ベトナム(5年)	2.422%	▲0.8 bp	▲1.0 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	43,239.50	▲0.4%	▲2.1%
N225(日本)	38,256.17	+0.3%	▲1.1%
STOXX50(ユーロ圏)	5,472.56	▲1.0%	+0.2%
ASX(オーストラリア)	4,732.43	+0.1%	+0.8%
FTSTI(シンガポール)	3,921.19	+0.3%	▲0.2%
SSEC(中国)	3,388.06	+0.2%	+1.1%
SENSEX(インド)	74,612.43	+0.0%	▲1.5%
JKSE(インドネシア)	6,485.45	▲1.8%	▲4.5%
KLSE(マレーシア)	1,586.60	▲0.1%	+0.6%
PSE(フィリピン)	6,124.09	▲0.3%	+0.9%
SETI(タイ)	1,215.73	▲1.3%	▲2.4%
VNINDEX(ベトナム)	1,307.80	+0.4%	+1.1%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	306.03	+0.3%	▲3.3%
金	2,877.52	▲1.3%	▲2.1%
原油(WTI)	70.35	+2.5%	▲3.1%
銅	9,381.31	▲0.7%	▲1.6%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	147.90	—	152.80
EUR/USD	1.0200	—	1.0600
AUD/USD	0.6085	—	0.6430
USD/SGD	1.3310	—	1.3500
USD/CNY	7.2410	—	7.3240
USD/INR	4.3800	—	4.5430
USD/THB	33.20	—	35.15
USD/IDR	16100	—	16500
USD/PHP	57.65	—	59.20
USD/VND	24,100	—	25,600

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel. 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は148円台後半でオープン。特段トリガーとなる材料はなかったものの、米金利低下の不服感や月末に向けたフローも重なってか、淡々と値を上げる展開。上値の重さは目立ったものの、底堅い推移を維持し、東京時間高値となる149円台半ばレベルで海外時間に渡った。アジア通貨は軟調。一昨日サブプライズ利下げが決定されたタイバツは対ドルで前日比0.6%安、またインドネシアルピアも同0.5%安と今月3日以来の安値となっている。

海外時間のドル円は149円台前半でスタート。日経平均株価の堅調な展開や、米金利の上昇を背景に、ドル円は底堅く推移し、149円台半ばでNYオープン。朝方に発表された米第4Q GDP(改定値)が予想通りだった一方、米新規失業保険申請件数が予想を上回るなどやや低調な結果となるも、その後トランプ米大統領が対カナダとメキシコへの関税案実施を予定通り3月4日に発動するとの発言が伝わると、ドル買いが優勢となり、150円台前半まで上昇。午後は買い一巡となり、149円台後半へ小幅反落しクローズした。

## 【金利】

昨日の米10年債利回りは上に往って来いとなり、ほぼ前日比ほぼ横ばい。欧州時間に入り最大5bpほどの上昇を見せた後、NY時間に入り強弱入り混じる経済指標や関税関連のヘッドラインを受け金利は上下。NY時間午後は月末のリバランスによる買いも入ってか低下に転じ、前日比+0.4bpで着地。

## 【予想】

本日のドル円は上値の重い展開を予想。先ほど公表された2月東京CPIインフレ率は予想を下回り、日銀による利上げ観測を後退させる内容となったがドル円市場の反応は限定的。足元悪化しているリスクセンチメントの中、引き続きドル買いに歯止めが掛かっている状況が継続。

## 【本日の予定】

- (日本) 1月 住宅着工件数
- (日本) 1月 鉱工業生産(速) / 小売売上高 / 百貨店・スーパー売上高
- (アジア) 12月 フィリピン 財政収支
- (アジア) 1月 インド インフラ産業8業種
- (アジア) 1月 シンガポール シンガポール国外居住者預金・残高
- (アジア) 1月 タイ 国際収支
- (アジア) 1月 フィリピン 貿易収支
- (アジア) 1月 フィリピン 銀行貸出動向
- (アジア) 1月 豪 民間部門信用
- (アジア) 4Q インド GDP / GVA
- (アジア) 休場 台湾
- (欧州) 1月 ユーロ圏 ECB CPI予想(1Y, 3Y)
- (欧州) 2月 英 ロイス景気指数 / ロイス独自価格予想
- (欧州) 2月 英 全国住宅価格
- (米国) 1月 個人所得 / 個人支出 / 実質個人支出
- (米国) 1月 前渡商品貿易収支 / 小売在庫
- (米国) 1月 卸売在庫(速) / PCE価格指数 / コア個人消費支出価格指数
- (米国) 2月 MNF/コアPMI
- (米国) 2月 カザフスタン連銀サービス業活動
- (米国) ゲールスビー・シカゴ連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。